

Ⅱ 結果の内容

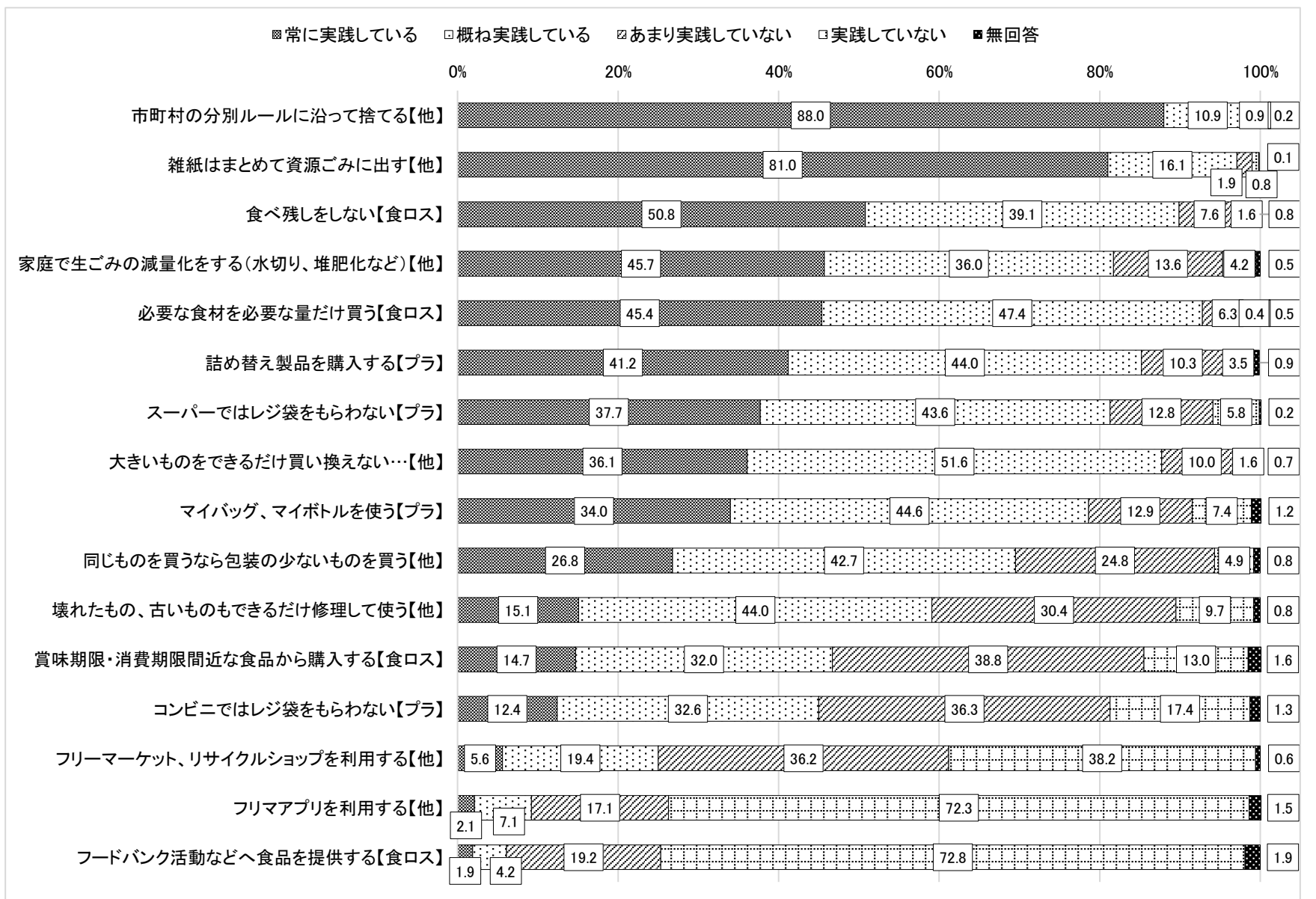
《廃棄物に係る意識について》

＜ごみの減量のため実践していること＞
 「市町村の分別ルールに沿って捨てる」をはじめ、16項目中8項目で「常に実践している」「概ね実践している」の合計が8割以上

長野県は、近年話題となっている海へ流れ込むプラスチックごみの問題や、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスの問題に取り組んでいます。その中で、あなたはごみの減量にどんなことを実践していますか。該当する番号(1～4)に1つずつ○をしてください。

凡例	【プラ】=プラスチックごみの削減について 【食ロス】=食品ロスの削減について 【他】=その他ごみの削減について	回答人数 n=948					割合(%)				
		常に実践している	概ね実践している	あまり実践していない	実践していない	無回答	常に実践している	概ね実践している	あまり実践していない	実践していない	無回答
	市町村の分別ルールに沿って捨てる【他】	834	103	9	0	2	88.0	10.9	0.9	0.0	0.2
	雑紙はまとめて資源ごみに出す【他】	768	153	18	8	1	81.0	16.1	1.9	0.8	0.1
	食べ残しをしない【食ロス】	482	371	72	15	8	50.8	39.1	7.6	1.6	0.8
	家庭で生ごみの減量化をする(水切り、堆肥化など)【他】	433	341	129	40	5	45.7	36.0	13.6	4.2	0.5
	必要な食材を必要な量だけ買う【食ロス】	430	449	60	4	5	45.4	47.4	6.3	0.4	0.5
	詰め替え製品を購入する【プラ】	391	417	98	33	9	41.2	44.0	10.3	3.5	0.9
	スーパーではレジ袋をもらわない【プラ】	357	413	121	55	2	37.7	43.6	12.8	5.8	0.2
	大きいものをできるだけ買い換えない、又はなるべく粗大ごみを出さない【他】	342	489	95	15	7	36.1	51.6	10.0	1.6	0.7
	マイバッグ、マイボトルを使う【プラ】	322	423	122	70	11	34.0	44.6	12.9	7.4	1.2
	同じものを買うなら包装の少ないものを買う【他】	254	405	235	46	8	26.8	42.7	24.8	4.9	0.8
	壊れたもの、古いものもできるだけ修理して使う【他】	143	417	288	92	8	15.1	44.0	30.4	9.7	0.8
	賞味期限・消費期限間近な食品から購入する【食ロス】	139	303	368	123	15	14.7	32.0	38.8	13.0	1.6
	コンビニではレジ袋をもらわない【プラ】	118	309	344	165	12	12.4	32.6	36.3	17.4	1.3
	フリーマーケット、リサイクルショップを利用する【他】	53	184	343	362	6	5.6	19.4	36.2	38.2	0.6
	フリマアプリを利用する【他】	20	67	162	685	14	2.1	7.1	17.1	72.3	1.5
	フードバンク活動などへ食品を提供する【食ロス】	18	40	182	690	18	1.9	4.2	19.2	72.8	1.9
	その他	24					-				

- 16項目中8項目において、「実践している」「概ね実践している」の合計が8割以上となった。
- コンビニでのレジ袋辞退、賞味期限・消費期限間近な食品からの購入、フードバンク活動への食品提供、フリーマーケット等でのリユース、修理して長く使うなどの実践率が低かった。



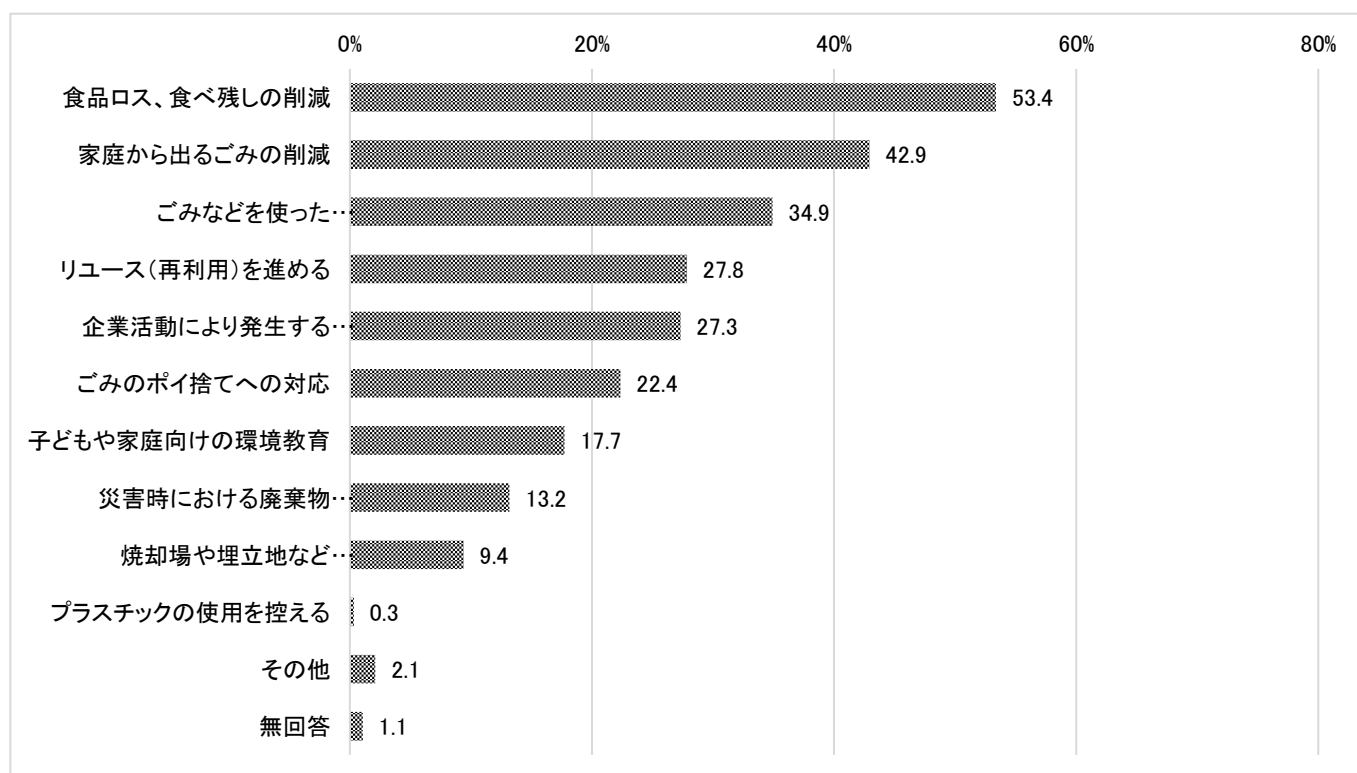
その他としては、「友人同士でお互いに必要ないもので使いたいものを交換して使い続ける」「市町村の収集だけでなく、民間(スーパーマーケットなど)の収集を利用」「長く使用できるものを買う、また、リプロデュースする会社のものを購入」等の回答が見られた。

＜社会全体で取り組むべき廃棄物の課題＞
「食品ロス、食べ残しの削減」が5割超

問2 廃棄物に関する課題について、特にどのようなことに社会全体で取り組む必要があると思いますか。当てはまるものにチェックをしてください。(☑は3つまで)

	回答数 (人)	割合 (%)
	n=948	
食品ロス、食べ残しの削減	506	53.4
家庭から出るごみの削減	407	42.9
ごみなどを使った発電などエネルギーの活用	331	34.9
リユース(再利用)を進める	264	27.8
企業活動により発生する産業廃棄物の削減、適正処理	259	27.3
ごみのポイ捨てへの対応	212	22.4
子どもや家庭向けの環境教育	168	17.7
災害時における廃棄物(災害廃棄物)の処理	125	13.2
焼却場や埋立地など処分する施設の不足への対応	89	9.4
プラスチックの使用を控える	3	0.3
その他	20	2.1
無回答	10	1.1

●「食品ロス、食べ残しの削減」が53.4%と最も高く、次に「家庭から出るごみの削減」(42.9%)、「ごみなどを使った発電などエネルギーの活用」(34.9%)となった。



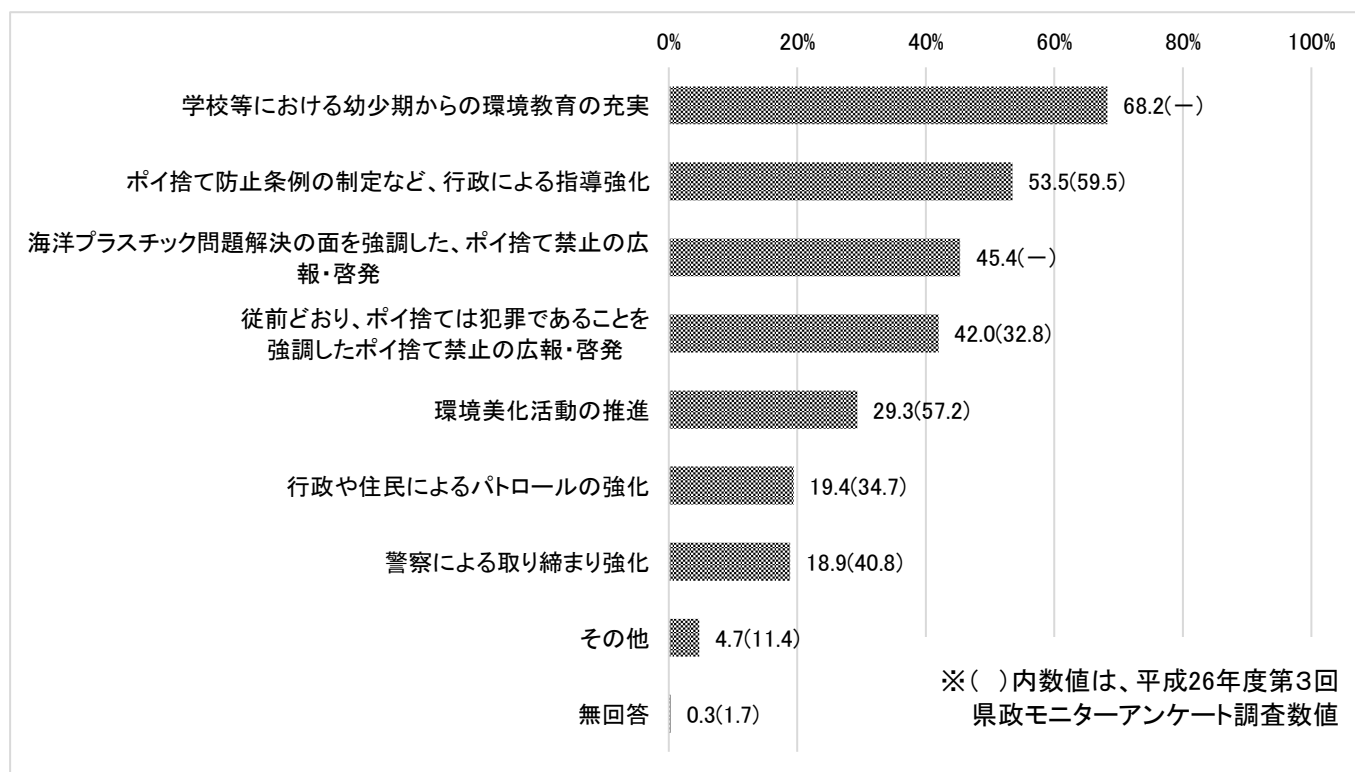
その他としては、「企業へ包装容器をプラスチック系からガラス・紙へ変更を検討するよう促す」、「デポジットの普及」、「捨てやすさを考えたものを売ってほしい」、「過包装をなくす」等の回答が見られた。

＜ポイ捨て・不法投棄対策のために有効な取組＞
 「学校等における幼少期からの環境教育の充実」が約7割

問3 海洋プラスチックごみは、ポイ捨てなどにより陸域から河川等を経由して海域へ流出しているとも指摘されており、早急な対応が必要です。あなたはポイ捨てに対してどのような施策が効果的だと思いますか。当てはまるものにチェックをしてください。(☑は3つまで)

	R1年度 n=948		H26年度 n=844	
	回答人数	割合(%)	回答人数	割合(%)
学校等における幼少期からの環境教育の充実	647	68.2	—	—
ポイ捨て防止条例の制定など、行政による指導強化	507	53.5	502	59.5
海洋プラスチック問題解決の面を強調した、ポイ捨て禁止の広報・啓発	430	45.4	—	—
従前どおり、ポイ捨ては犯罪であることを強調したポイ捨て禁止の広報・啓発	398	42.0	277	32.8
環境美化活動の推進	278	29.3	483	57.2
行政や住民によるパトロールの強化	184	19.4	293	34.7
警察による取り締まり強化	179	18.9	344	40.8
その他	45	4.7	96	11.4
無回答	3	0.3	14	1.7

●「学校等における幼少期からの環境教育の充実」が68.2%と最も多く、次に「ポイ捨て防止条例の制定など、行政による指導強化」(53.5%)、「海洋プラスチック問題解決の面を強調した、ポイ捨て禁止の広報・啓発」(45.4%)となっている。



その他としては、「そもそもプラスチック製品を減らす」、「プラスチック容器・用品から回収容易製品への転換」、「日本だけの問題ではなく、外国からのゴミがたくさん来ており、そちらのほうが問題」等の回答が見られた。

《長野県森林づくり県民税(森林税)について》

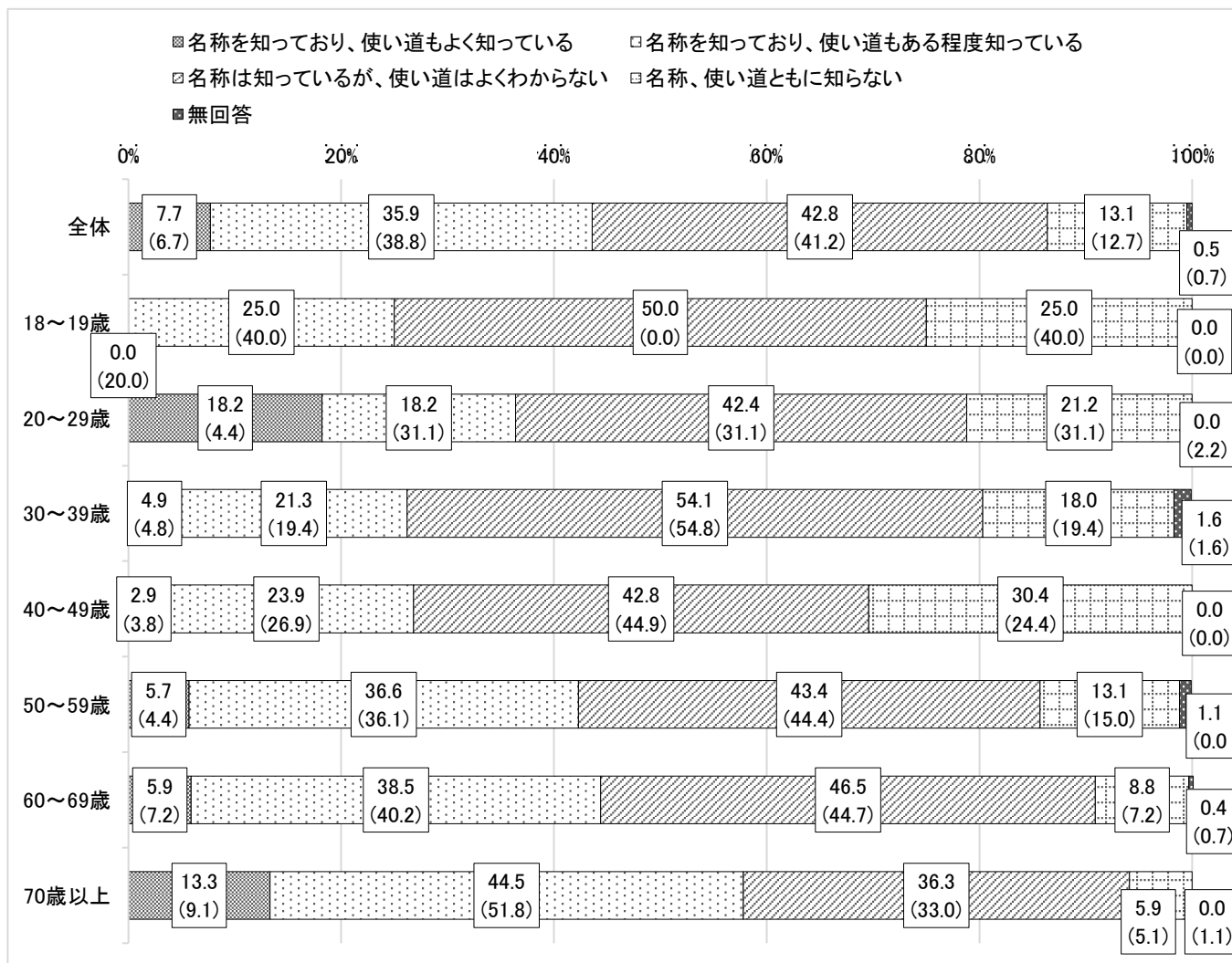
＜森林税と使途の認知度＞

「名称を知っており、使い道もよく知っている」と「名称を知っており、使い道もある程度知っている」を合わせて4割超、「名称は知っているが、使い道はよくわからない」方を含めると9割弱

問4 あなたは、森林税の名称や使い道についてご存知ですか。当てはまるものにチェックをしてください。
(☑は一つ)

	R1年度n=948		H30年度n=1,018	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
① 名称を知っており、使い道もよく知っている	73	7.7	68	6.7
② 名称を知っており、使い道もある程度知っている	340	35.9	395	38.8
③ 名称は知っているが、使い道はよくわからない	406	42.8	419	41.2
④ 名称、使い道ともに知らない	124	13.1	129	12.7
無回答	5	0.5	7	0.7

● 「名称を知っており、使い道もよく知っている」(7.7%)と「名称を知っており、使い道もある程度知っている」(35.9%)を合わせて43.6%となっている。年代別では、70歳以上が57.8%と最も高くなっている。



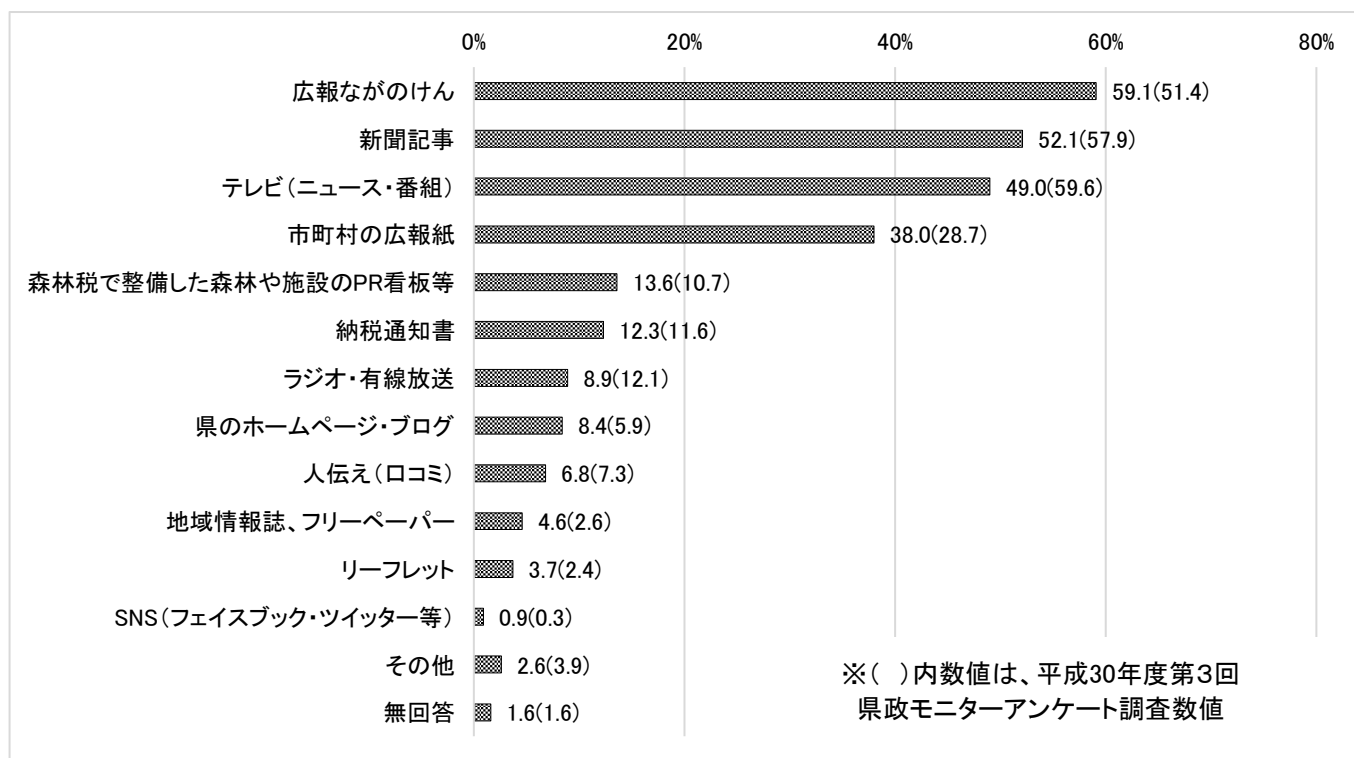
＜森林税を認知した媒体＞

「広報ながのけん」が約6割、「新聞記事」と「テレビ(ニュース・番組)」がいずれも約5割

問5 問4で①から③を選ばれた方に伺います。あなたは、森林税の名称、使い道などを、どのようにお知りになりましたか。当てはまるものにチェックをしてください。(☑はいくつでも)

	R1年度 n=819		H30年度 n=882	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
広報ながのけん	484	59.1	453	51.4
新聞記事	427	52.1	511	57.9
テレビ(ニュース・番組)	401	49.0	526	59.6
市町村の広報紙	311	38.0	253	28.7
森林税で整備した森林や施設のPR看板等	111	13.6	94	10.7
納税通知書	101	12.3	102	11.6
ラジオ・有線放送	73	8.9	107	12.1
県のホームページ・ブログ	69	8.4	52	5.9
人伝え(口コミ)	56	6.8	64	7.3
地域情報誌、フリーペーパー	38	4.6	23	2.6
リーフレット	30	3.7	21	2.4
SNS(フェイスブック・ツイッター等)	7	0.9	3	0.3
その他	21	2.6	34	3.9
無回答	13	1.6	14	1.6

●「広報ながのけん」が59.1%と最も多く、次に「新聞記事」(52.1%)、「テレビ(ニュース・番組)」(49.0%)となっている。「市町村の広報紙」が前回調査(H30第3回)より約10ポイント伸びている。



その他としては、「学校」、「地域で里山整備活動を行って知った」、「仕事を通じて」、「市のホームページ」等の回答が見られた。

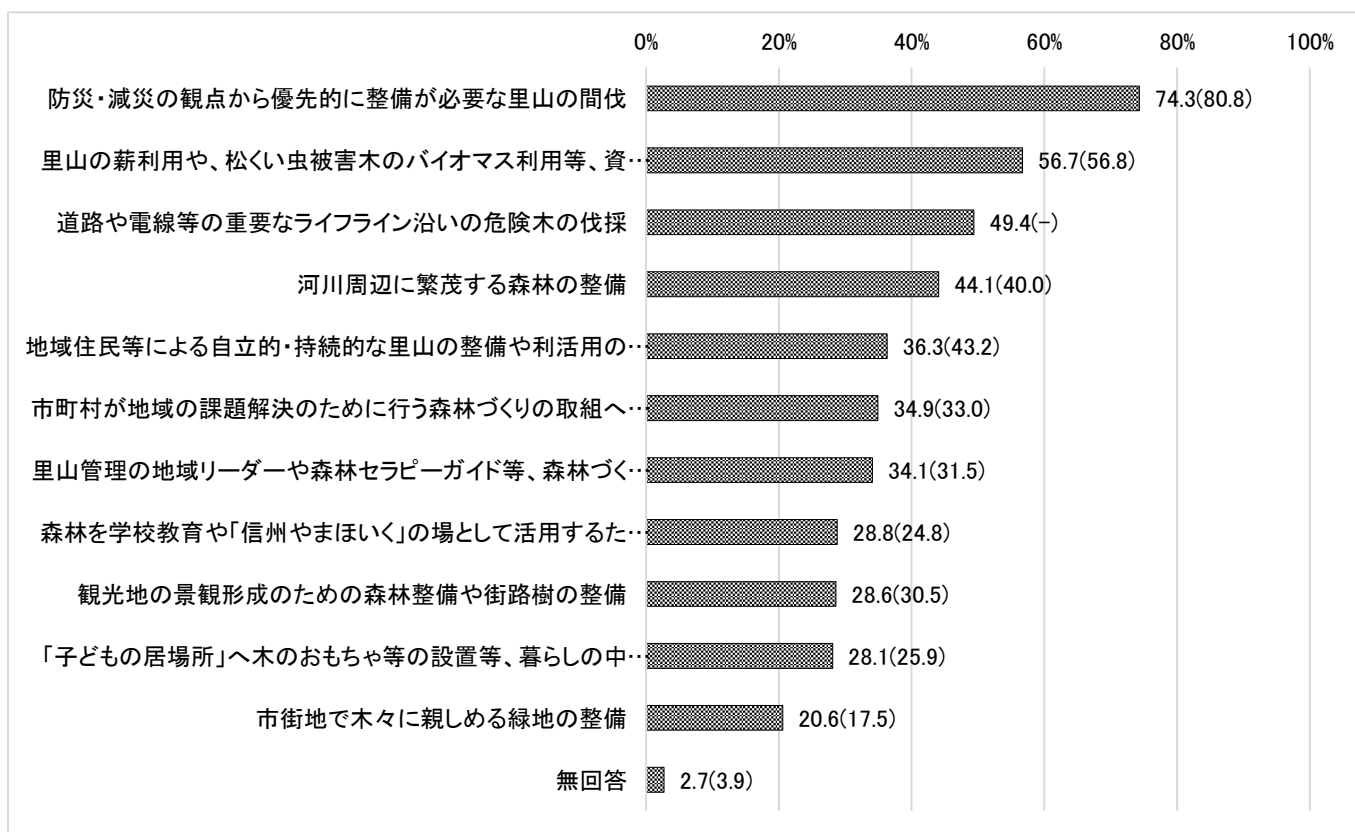
＜森林税を活用した取組のうち認知しているもの＞

「防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐」が7割超、「里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり」が6割弱

問6 問4で①または②を選ばれた方に伺います。森林税は現在、以下のような取組に活用されていますが、このうちあなたが見たり聞いたりしたことがあるものにチェックをしてください。(☑はいくつでも)

	R1年度 n=413		H30年度 n=463	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐	307	74.3	374	80.8
里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり	234	56.7	263	56.8
道路や電線等の重要なライフライン沿いの危険木の伐採	204	49.4	-	-
河川周辺に繁茂する森林の整備	182	44.1	185	40.0
地域住民等による自立的・持続的な里山の整備や利活用の促進	150	36.3	200	43.2
市町村が地域の課題解決のために行う森林づくりの取組への支援	144	34.9	153	33.0
里山管理の地域リーダーや森林セラピーガイド等、森林づくりに関わる人材育成	141	34.1	146	31.5
森林を学校教育や「信州やまほいく」の場として活用するためのフィールド整備	119	28.8	115	24.8
観光地の景観形成のための森林整備や街路樹の整備	118	28.6	141	30.5
「子どもの居場所」へ木のおもちゃ等の設置等、暮らしの中の木材利用の推進	116	28.1	120	25.9
市街地で木々に親しめる緑地の整備	85	20.6	81	17.5
無回答	11	2.7	18	3.9

●事業別の認知度は前回とほぼ同様の傾向だが、令和元年度から新たに取組を始めた「道路や電線等の重要なライフライン沿いの危険木の伐採」が約5割の認知度となった。



※()内数値は、平成30年度第3回県政モニターアンケート調査数値

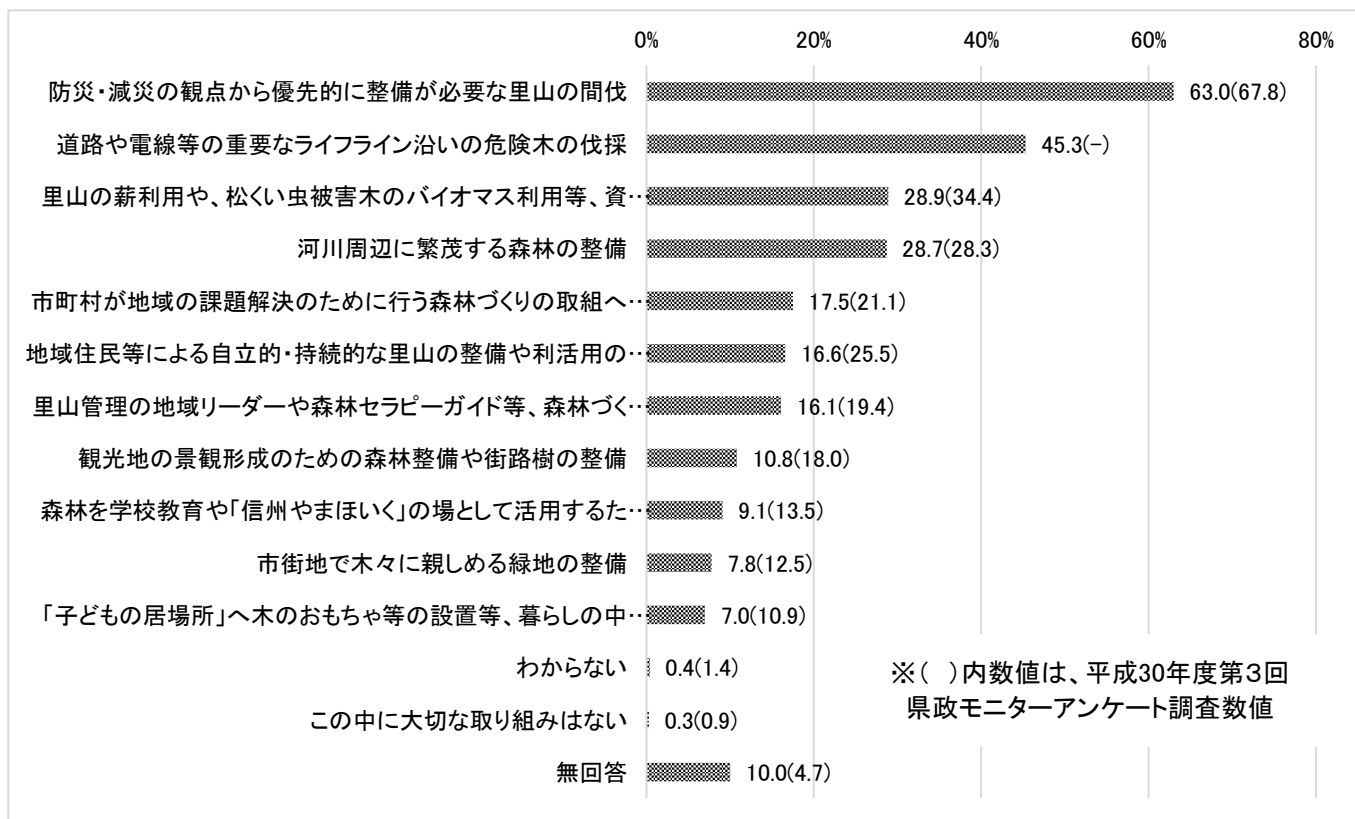
＜森林税を活用した取組の優先度＞

「防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐」が6割超、「道路や電線等の重要なライフライン沿いの危険木の伐採」が4割超

問7 森林税を活用した取組について伺います。森林税は現在、以下のような取組に活用されていますが、このうちあなたが特に大切だと思う取組にチェックをしてください。(☑は3つまで)

	R1年度 n=948		H30年度 n=1,018	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐	597	63.0	690	67.8
道路や電線等の重要なライフライン沿いの危険木の伐採	429	45.3	—	—
里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり	274	28.9	350	34.4
河川周辺に繁茂する森林の整備	272	28.7	288	28.3
市町村が地域の課題解決のために行う森林づくりの取組への支援	166	17.5	215	21.1
地域住民等による自立的・持続的な里山の整備や利活用の促進	157	16.6	260	25.5
里山管理の地域リーダーや森林セラピーガイド等、森林づくりに関わる人材育成	153	16.1	197	19.4
観光地の景観形成のための森林整備や街路樹の整備	102	10.8	183	18.0
森林を学校教育や「信州やまほいく」の場として活用するためのフィールド整備	86	9.1	137	13.5
市街地で木々に親しめる緑地の整備	74	7.8	127	12.5
「子どもの居場所」へ木のおもちゃ等の設置等、暮らしの中の木材利用の推進	66	7.0	111	10.9
わからない	4	0.4	14	1.4
この中に大切な取り組みはない	3	0.3	9	0.9
無回答	95	10.0	48	4.7

●特に大切な取組として選択されている事業は前回とほぼ同様の傾向だが、令和元年度から新たに取組を始めた「道路や電線等の重要なライフライン沿いの危険木の伐採」が4割超となっており、その分他の事業の選択割合が減っている。



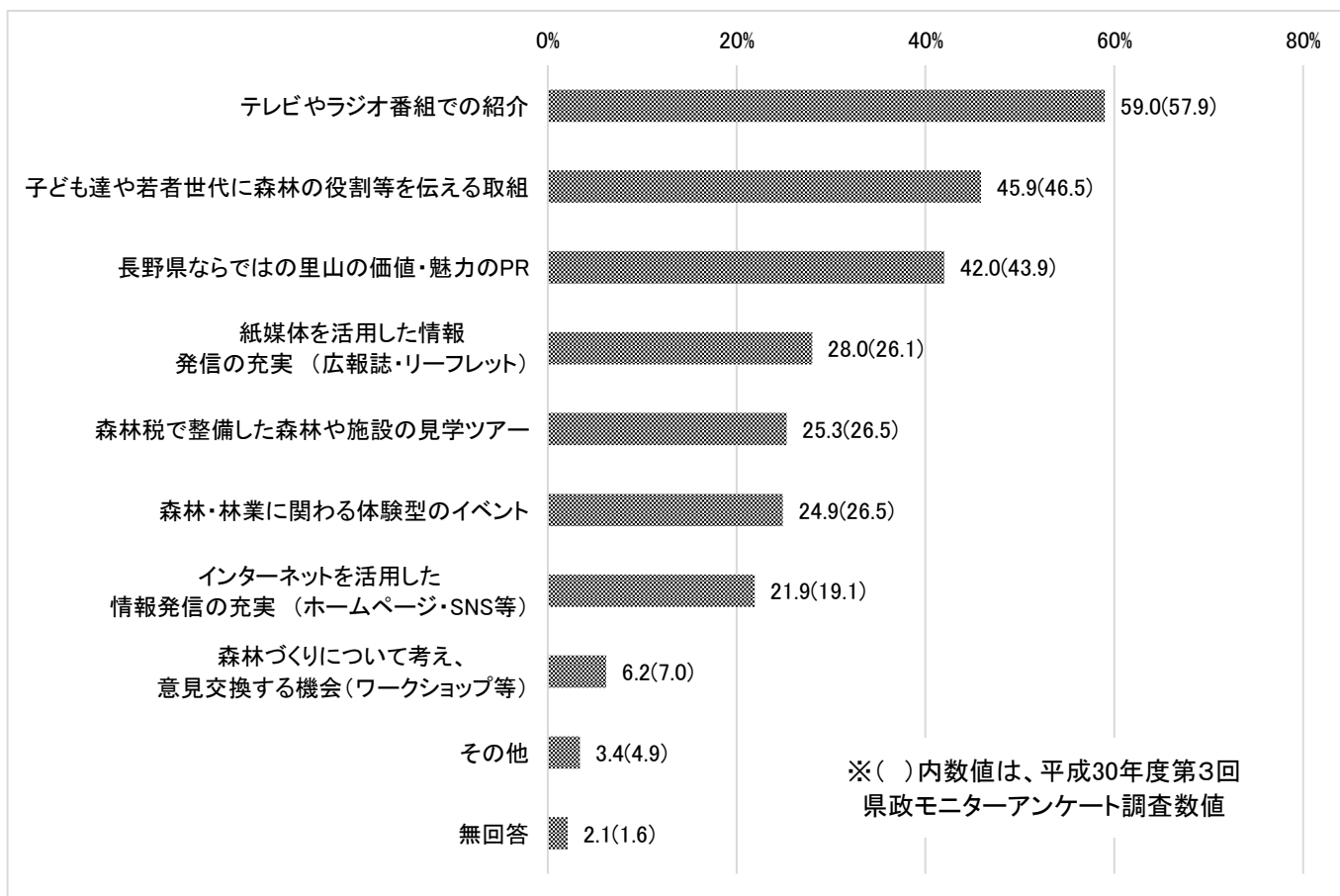
＜森林税を身近に感じてもらうために有効な取組＞

「テレビやラジオ番組での紹介」が約6割、「子ども達や若者世代に森林の役割等を伝える取組」が4割超

問8 森林税やその使い道が、県民の皆様にとってより身近に感じられるものとなるためにはどのような取組が大事だと思いますか。当てはまるものにチェックをしてください。(☑は3つまで)

	R1年度 n=948		H30年度 n=1,018	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
テレビやラジオ番組での紹介	559	59.0	589	57.9
子ども達や若者世代に森林の役割等を伝える取組	435	45.9	473	46.5
長野県ならではの里山の価値・魅力のPR	398	42.0	447	43.9
紙媒体を活用した情報発信の充実 (広報誌・リーフレット等)	265	28.0	266	26.1
森林税で整備した森林や施設の見学ツアー	240	25.3	270	26.5
森林・林業に関わる体験型のイベント	236	24.9	270	26.5
インターネットを活用した情報発信の充実 (ホームページ・SNS等)	208	21.9	194	19.1
森林づくりについて考え、意見交換する機会(ワークショップ等)	59	6.2	71	7.0
その他	32	3.4	50	4.9
無回答	20	2.1	16	1.6

●「テレビやラジオ番組での紹介」が59.0%と最も多く、以下前回調査（H30第3回）とほぼ同様の傾向。



その他としては、「地域住民の目に映る地域の森林への投資」、「若者に林業の魅力を伝える」、「台風等による倒木の処理」、「病害虫対策」、「透明性の確保」、「そもそも森林税は不要」等の回答が見られた。

【文化芸術活動に関する実感】

＜文化芸術活動に参加した人の割合＞
過去1年間に文化芸術活動(鑑賞を含む)を行った人は6割超

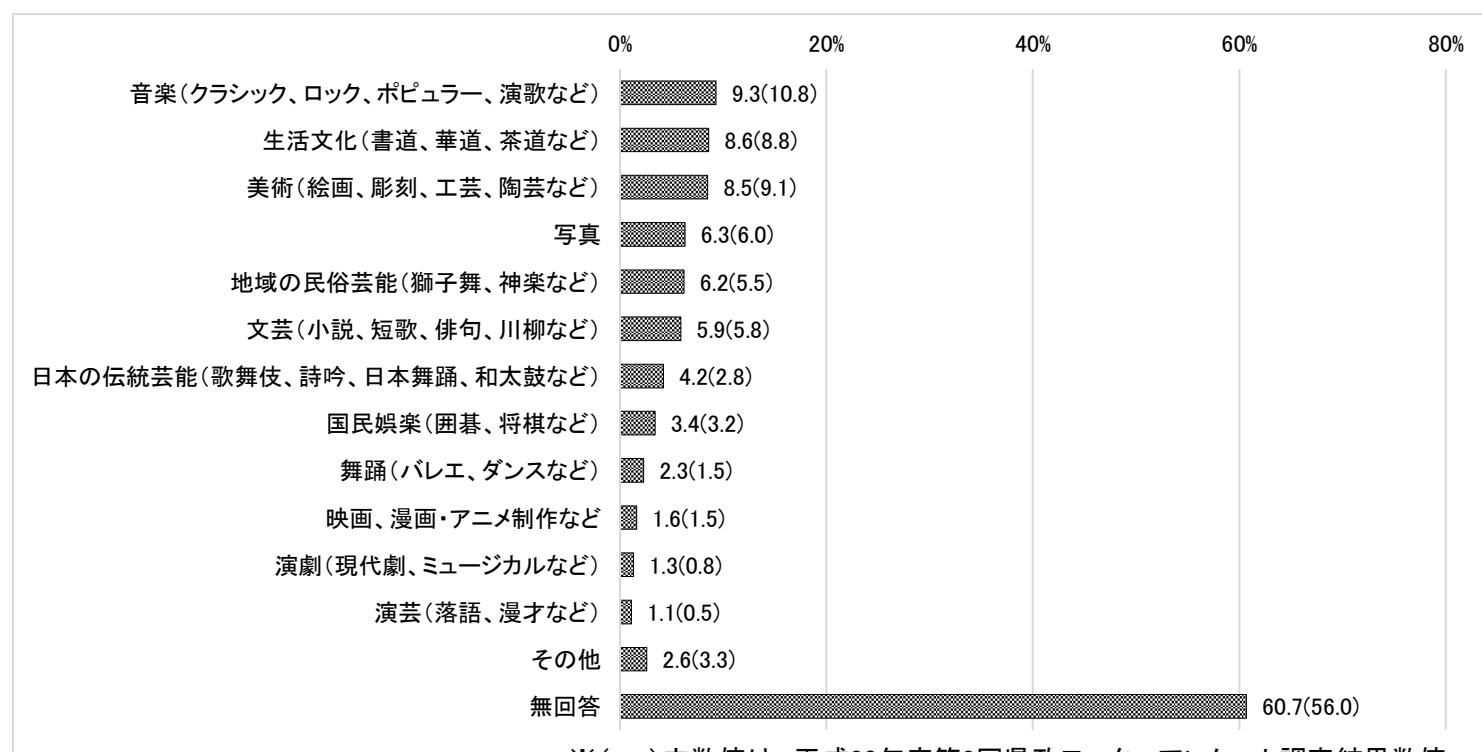
問9 あなたは過去1年間に文化芸術活動(鑑賞を含む)を行いましたか。当てはまるものにチェックをしてください。
(☑は1つ)

	R1年度 n=948		(参考) H30年度 n=1,018	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
① はい	615	64.9	602	59.1
② いいえ	308	32.5	415	40.8
無回答	25	2.6	1	0.1

問10 問9で「①はい」を選んだ方に伺います。あなたは以下のどのような文化芸術活動を行いましたか。自ら創作・参加した文化芸術活動、又は文化芸術作品の鑑賞をしたものについて、あてはまるものすべてにチェックをしてください。(☑はいくつでも、両方でも可)

■ 自ら創作・参加する文化芸術活動を行なった	R1年度 n=615		(参考) H30年度 n=602	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
音楽(クラシック、ロック、ポピュラー、演歌など)	57	9.3	65	10.8
生活文化(書道、華道、茶道など)	53	8.6	53	8.8
美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)	52	8.5	55	9.1
写真	39	6.3	36	6.0
地域の民俗芸能(獅子舞、神楽など)	38	6.2	33	5.5
文芸(小説、短歌、俳句、川柳など)	36	5.9	35	5.8
日本の伝統芸能(歌舞伎、詩吟、日本舞踊、和太鼓など)	26	4.2	17	2.8
国民娯楽(囲碁、将棋など)	21	3.4	19	3.2
舞踊(バレエ、ダンスなど)	14	2.3	9	1.5
映画・漫画・アニメ	10	1.6	9	1.5
演劇(現代劇、ミュージカルなど)	8	1.3	5	0.8
演芸(落語、漫才など)	7	1.1	3	0.5
その他	16	2.6	20	3.3
無回答	373	60.7	337	56.0

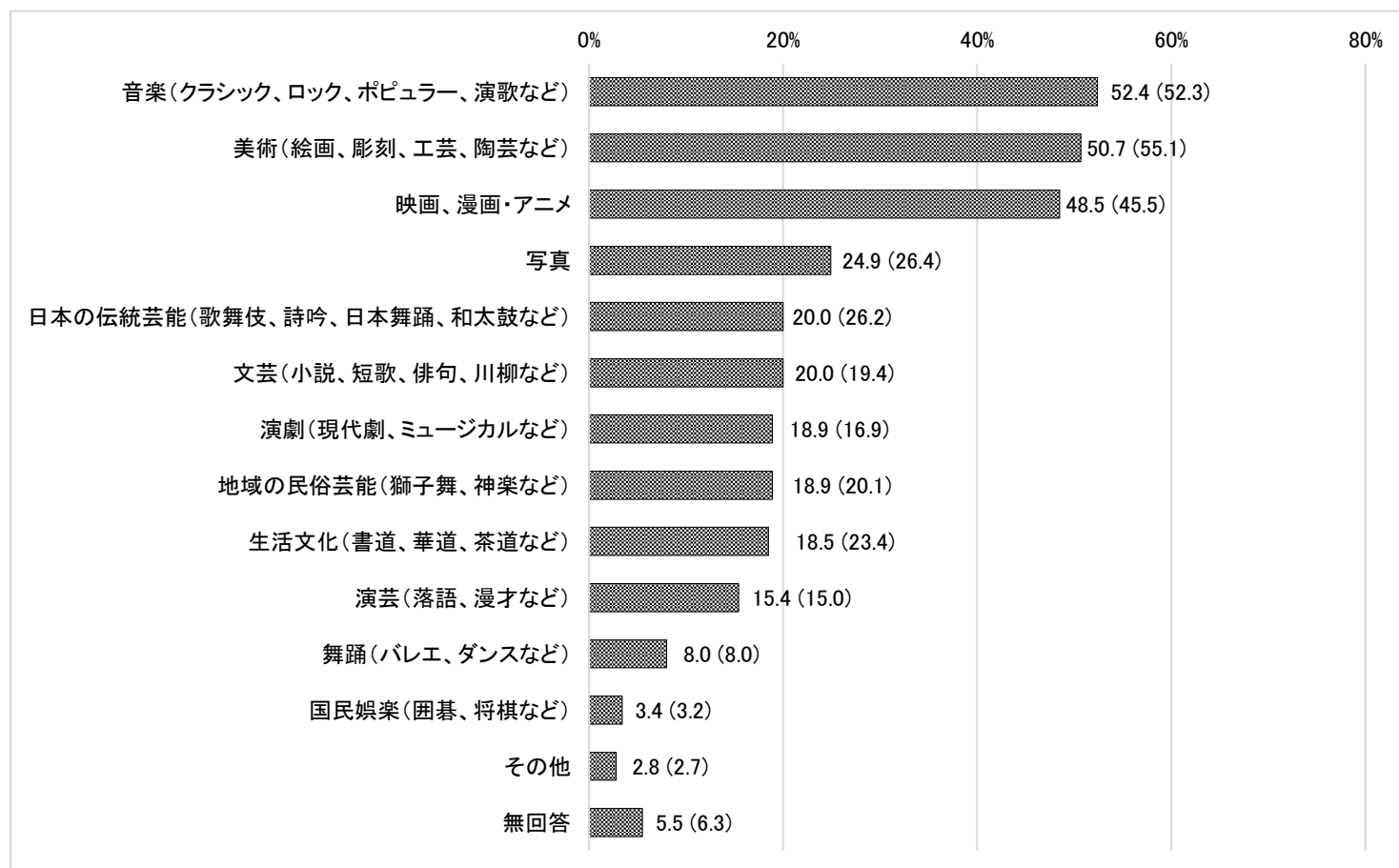
●自ら創作・参加した文化芸術活動は「音楽(クラシック、ロック、ポピュラー、演歌など)」が9.3%と最も高く、次に「生活文化(書道、華道、茶道など)」(8.6%)、「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)」(8.5%)となっている。



※()内数値は、平成30年度第3回県政モニターアンケート調査結果数値

■ 文化芸術作品の鑑賞活動を行った	R1年度 n=615		(参考) H30年度 n=602	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
音楽(クラシック、ロック、ポピュラー、演歌など)	322	52.4	315	52.3
美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)	312	50.7	332	55.1
映画・漫画・アニメ	298	48.5	274	45.5
写真	153	24.9	159	26.4
日本の伝統芸能(歌舞伎、詩吟、日本舞踊、和太鼓など)	123	20.0	158	26.2
文芸(小説、短歌、俳句、川柳など)	123	20.0	117	19.4
演劇(現代劇、ミュージカルなど)	116	18.9	102	16.9
地域の民俗芸能(獅子舞、神楽など)	116	18.9	121	20.1
生活文化(書道、華道、茶道など)	114	18.5	141	23.4
演芸(落語、漫才など)	95	15.4	90	15.0
舞踊(バレエ、ダンスなど)	49	8.0	48	8.0
国民娯楽(囲碁、将棋など)	21	3.4	19	3.2
その他	17	2.8	16	2.7
無回答	34	5.5	38	6.3

●鑑賞活動は「音楽(クラシック、ロック、ポピュラー、演歌など)」が52.4%と最も高く、次に「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)」(50.7%)、「映画・漫画・アニメ」(48.5%)となっている。



※()内数値は、平成30年度第3回県政モニターアンケート調査結果数値

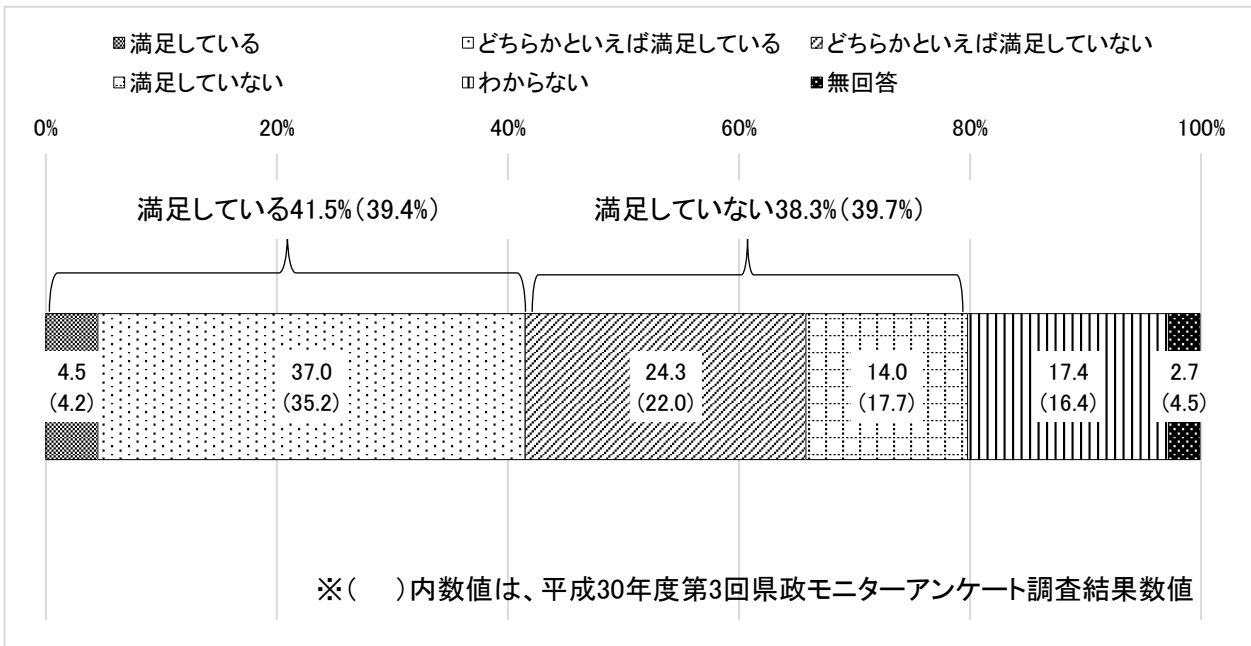
<住んでいる地域の文化的環境の満足度>

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせて約4割

あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境、例えば、鑑賞機会、創作・参加機会、文化財や伝統的まちなみの保存・整備などに満足していますか。当てはまるものにチェックをしてください。(☑は1つ)

	R1年度 n=948		(参考) H30年度 n=1,018	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
満足している	43	4.5	43	4.2
どちらかといえば満足している	351	37.0	358	35.2
どちらかといえば満足していない	230	24.3	224	22.0
満足していない	133	14.0	180	17.7
わからない	165	17.4	167	16.4
無回答	26	2.7	46	4.5

●「どちらかといえば満足している」が37.0%と最も高く、次に「どちらかといえば満足していない」(24.3%)、「満足していない」(14.0%)となっている。

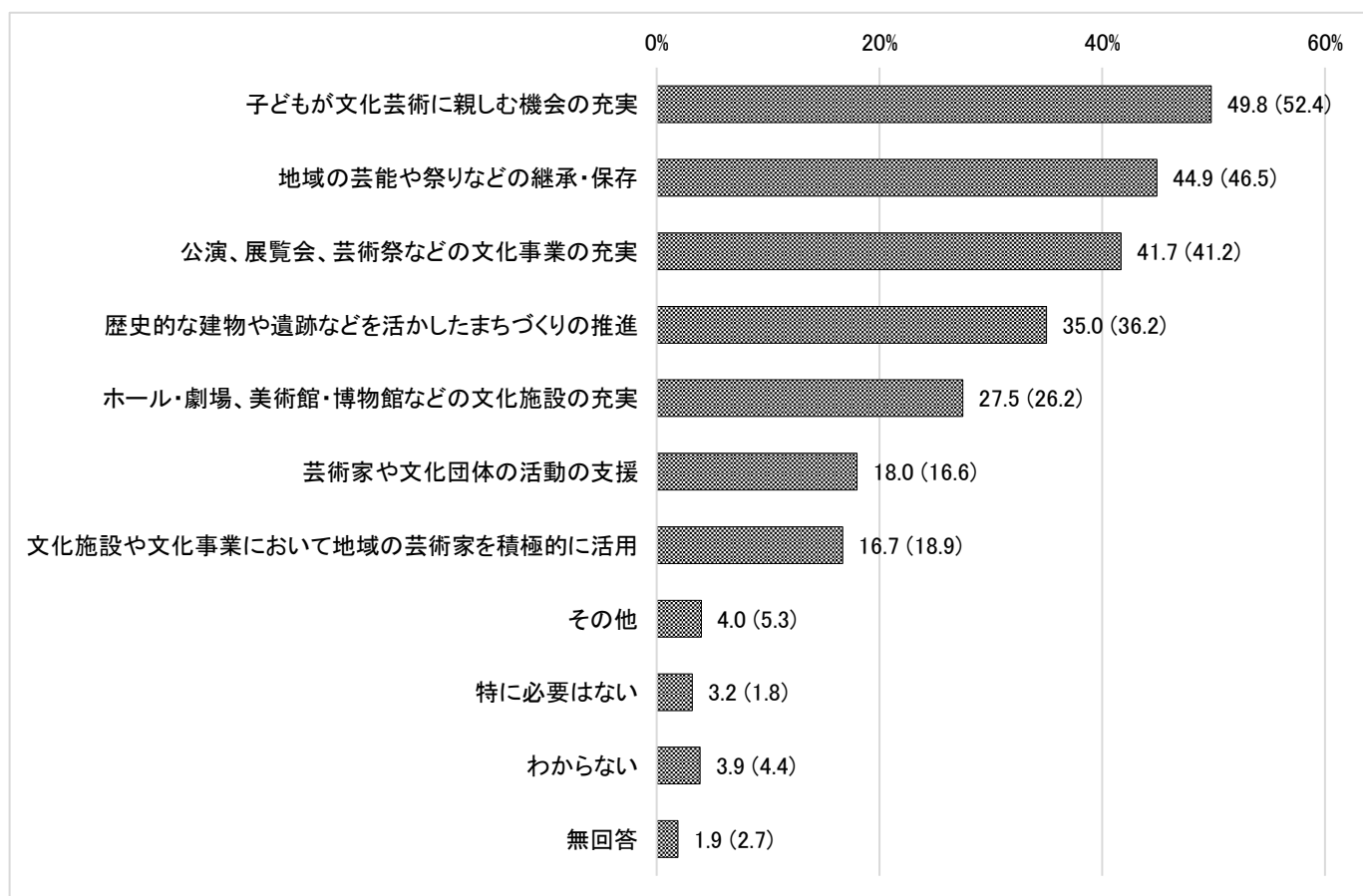


＜地域の文化的環境の充実に必要な事項＞
「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が約5割

問12 あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境を満足できるものとするために、何が必要だと思いますか。当てはまるものにチェックをしてください。(☑はいくつでも)

	R1年度 n=948		(参考) H30年度 n=1,018	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	472	49.8	533	52.4
地域の芸能や祭りなどの継承・保存	426	44.9	473	46.5
公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	395	41.7	419	41.2
歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進	332	35.0	369	36.2
ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実	261	27.5	267	26.2
芸術家や文化団体の活動の支援	171	18.0	169	16.6
文化施設や文化事業において地域の芸術家を積極的に活用	158	16.7	192	18.9
その他	38	4.0	54	5.3
特に必要はない	30	3.2	18	1.8
わからない	37	3.9	45	4.4
無回答	18	1.9	27	2.7

●「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が49.8%と最も高く、次に「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」(44.9%)、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」(41.7%)となっている。



※()内数値は、平成30年度第3回県政モニターアンケート調査結果数値

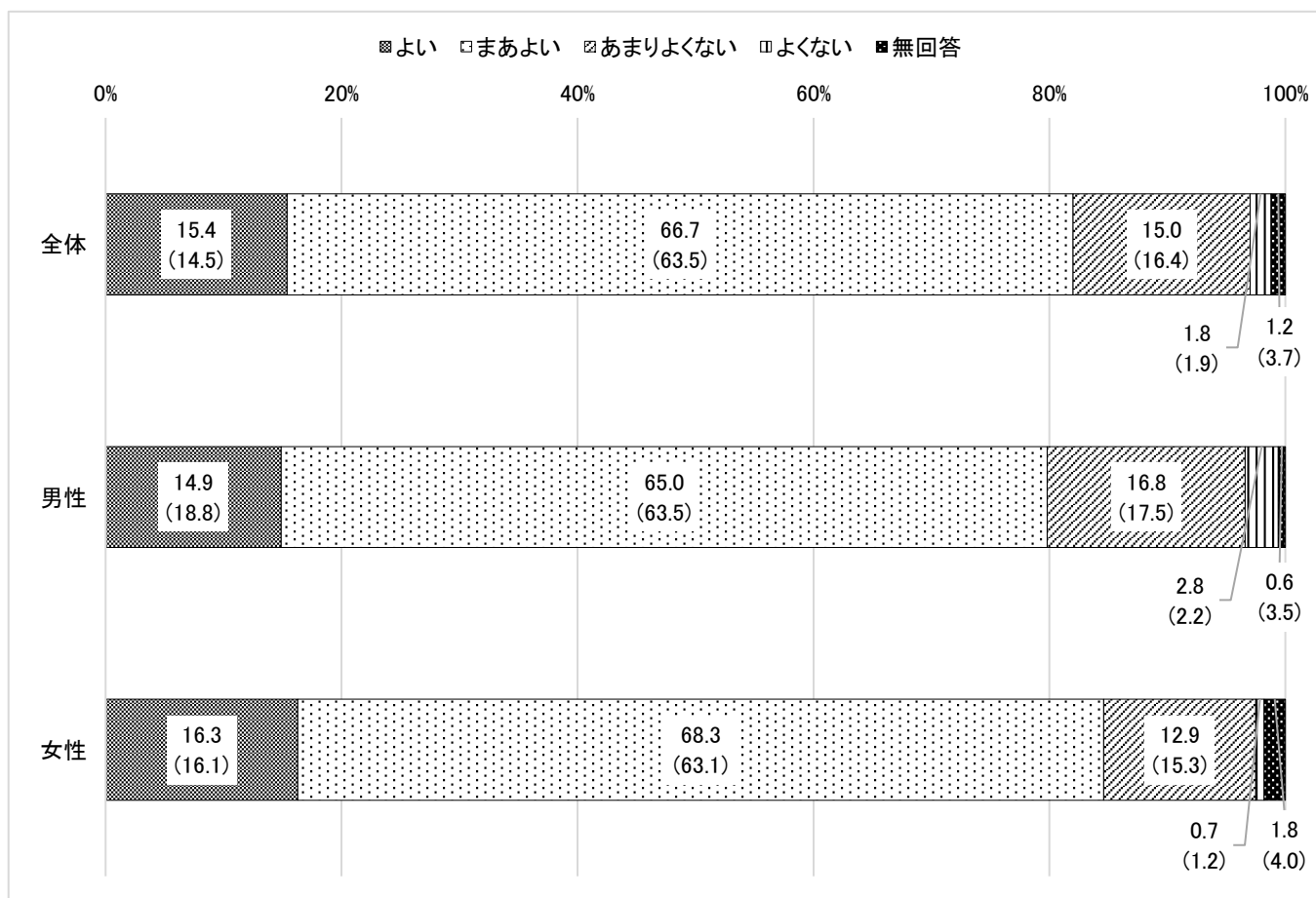
《健康づくりについて》

＜自分の健康状態＞
「よい」と「まあよい」を合わせて約8割

問13 あなたはご自分の健康状態をどのように感じていますか。当てはまるものにチェックをしてください。
(☑は1つ)

	R1年度 n=948		H30年度 n=1,018	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
よい	146	15.4	148	14.5
まあよい	632	66.7	646	63.5
あまりよくない	142	15.0	167	16.4
よくない	17	1.8	19	1.9
無回答	11	1.2	38	3.7

●自分の健康状態を「よい」、「まあよい」と感じている割合は82.1%であり、前回調査（H30第3回）（78.0%）より増加している。



※()内数値は、平成30年度第3回県政モニターアンケート調査数値

＜健康の維持・増進に関する取組＞
「取り組んでいる」と「少し取り組んでいる」を合わせた割合は、「食生活に関すること」が約9割、「健康診断受診に関すること」が9割弱

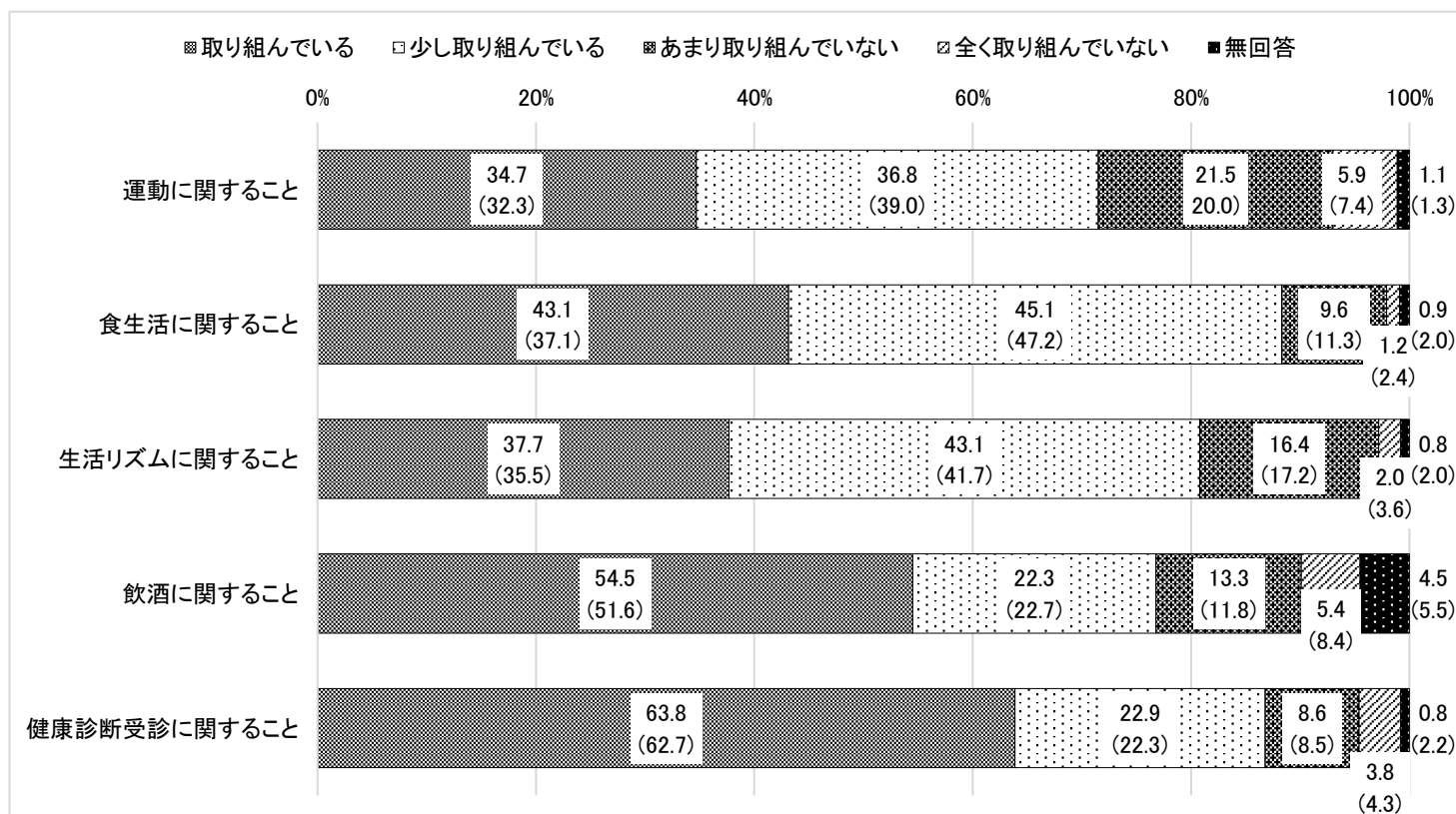
問14 あなたは、現在(または過去1年間)、次の中で取り組んでいることがありますか。①から⑤のそれぞれについて、該当する番号に1つずつ○をつけてください。

	回答数(人)					割合(%)				
	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答
n=948										
① 運動に関すること	329	349	204	56	10	34.7	36.8	21.5	5.9	1.1
② 食生活に関すること	409	428	91	11	9	43.1	45.1	9.6	1.2	0.9
③ 生活リズムに関すること	357	409	155	19	8	37.7	43.1	16.4	2.0	0.8
④ 飲酒に関すること	517	211	126	51	43	54.5	22.3	13.3	5.4	4.5
⑤ 健康診断受診に関すること	605	217	82	36	8	63.8	22.9	8.6	3.8	0.8
その他	14					1.5				

(参考)H30年度

	回答数(人)					割合(%)				
	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答
n=1,018										
① 運動に関すること	329	397	204	75	13	32.3	39.0	20.0	7.4	1.3
② 食生活に関すること	378	481	115	24	20	37.1	47.2	11.3	2.4	2.0
③ 生活リズムに関すること	361	425	175	37	20	35.5	41.7	17.2	3.6	2.0
④ 飲酒に関すること	525	231	120	86	56	51.6	22.7	11.8	8.4	5.5
⑤ 健康診断受診に関すること	638	227	87	44	22	62.7	22.3	8.5	4.3	2.2
その他	45					4.4				

- 「食生活に関すること」に「取り組んでいる」または「少し取り組んでいる」人の割合は88.2%で前回調査(H30第3回)(84.3%)を上回った。また、「運動に関すること」に「取り組んでいる」または「少し取り組んでいる」人の割合は71.5%で前回調査(H30第3回)(71.3%)を僅かに上回った。
- 「健康診断受診に関すること」に「取り組んでいる」「少し取り組んでいる」人の割合は86.7%と「食生活に関すること」に次いで高い。



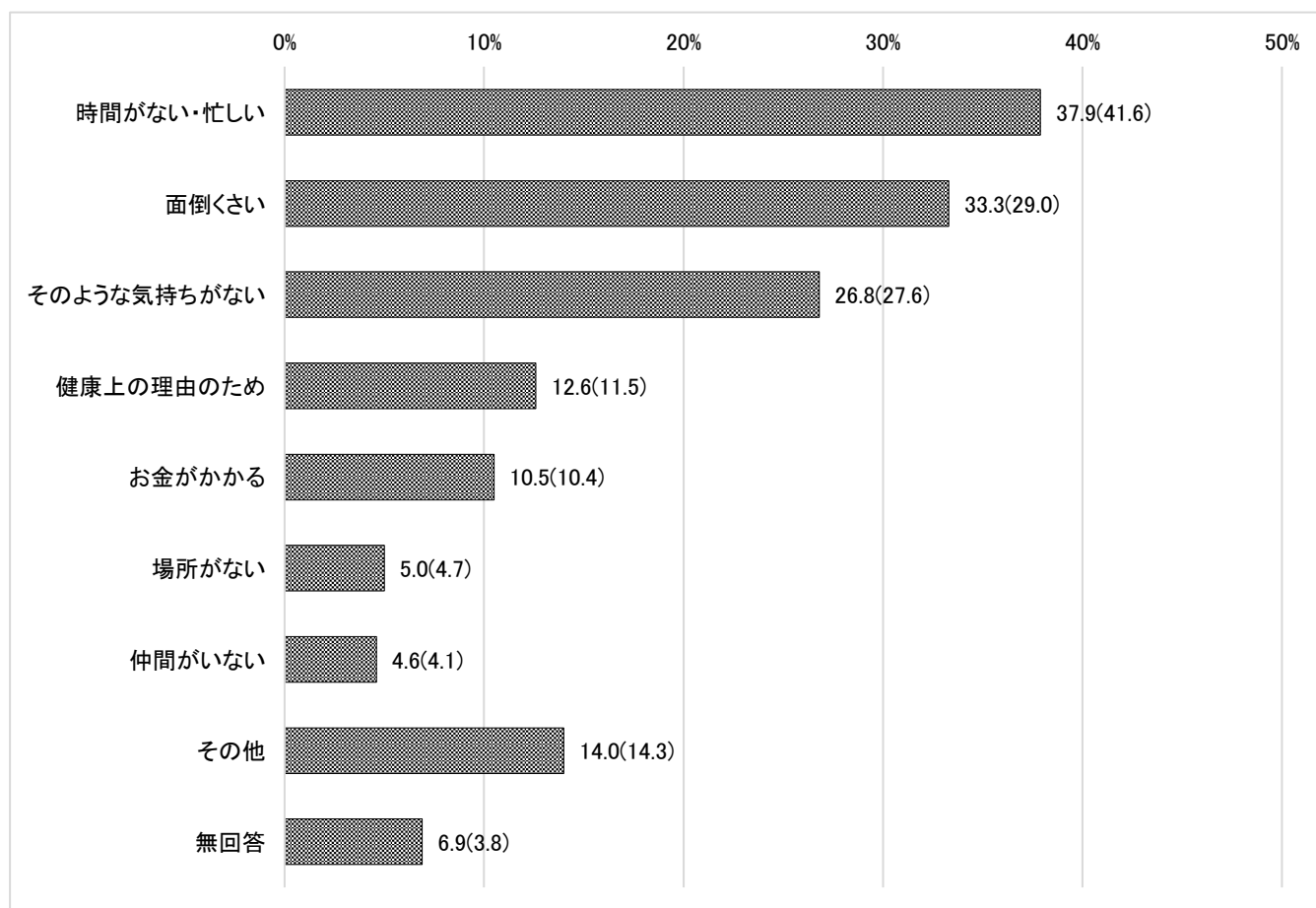
※()内数値は、平成30年度第3回県政モニターアンケート調査数値

＜健康の維持・増進に関する取組を行わない理由＞
「時間がない・忙しい」が約4割、「面倒くさい」が3割超

問 問14の①から⑤の項目の内、1項目でも③と④に○をした方は、その理由にチェックをしてください。
14-2 (☑はいくつでも)

	R1年度 n=478		H30年度 n=558	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
時間がない・忙しい	181	37.9	232	41.6
面倒くさい	159	33.3	162	29.0
そのような気持ちがない	128	26.8	154	27.6
健康上の理由のため	60	12.6	58	10.4
お金がかかる	50	10.5	64	11.5
場所がない	24	5.0	23	4.1
仲間がいない	22	4.6	26	4.7
その他	67	14.0	80	14.3
無回答	33	6.9	21	3.8

●「時間がない・忙しい」が37.9%と最も高く、次に「面倒くさい」(33.3%)、「そのような気持ちがない」(26.8%)となっている。



※()内数値は、平成30年度第3回県政モニターアンケート調査数値

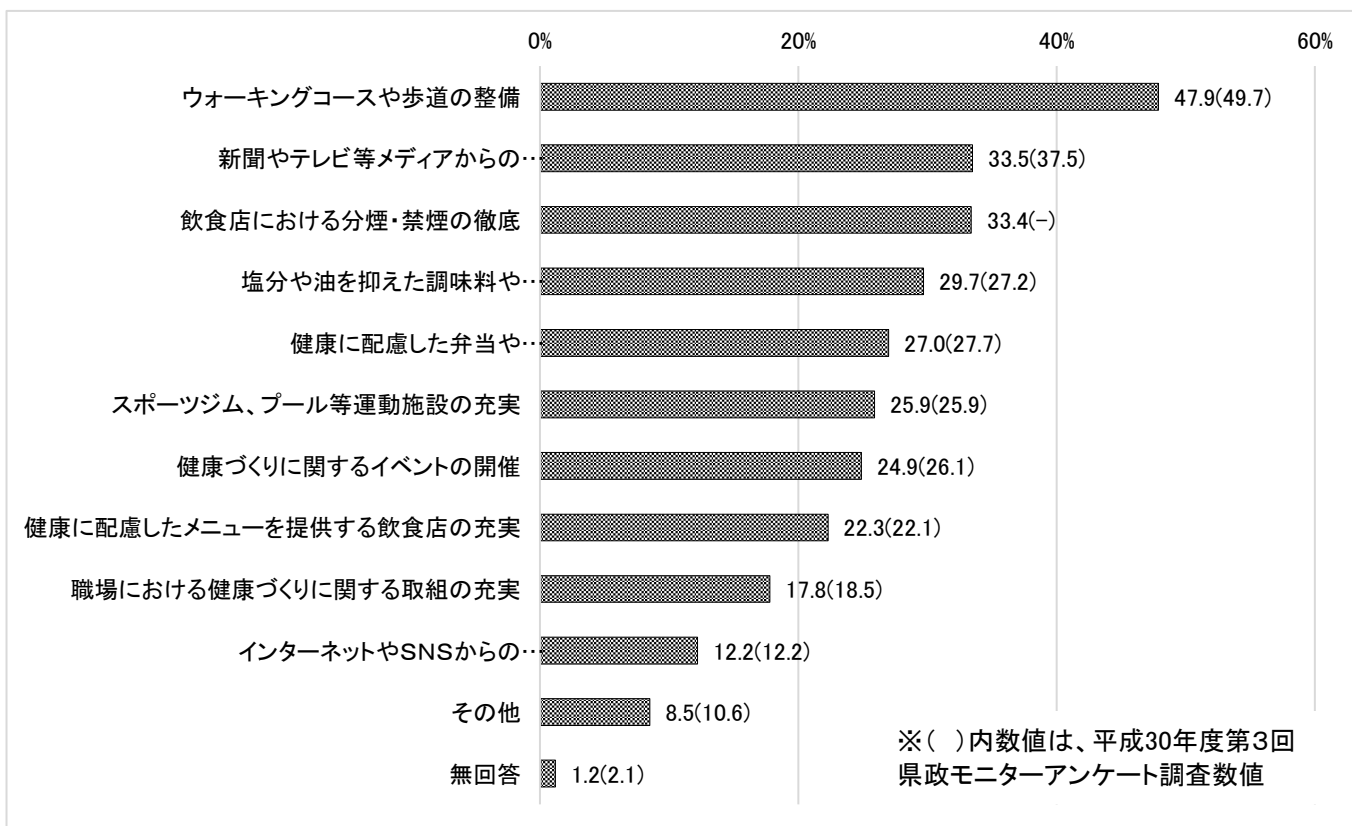
＜健康づくりを進める上で必要な環境づくり＞

「ウォーキングコースや歩道の整備」が約5割、「新聞やテレビ等メディアからの健康づくりに関する情報の充実」と「飲食店における分煙・禁煙の徹底」がいずれも3割超

問15 あなたは、ご自身の健康づくりを進める上で、どのような環境づくりが必要だと思いますか。当てはまるものにチェックをしてください。(☑はいくつでも)

	R1年度 n=948		H30年度 n=1,018	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
ウォーキングコースや歩道の整備	454	47.9	506	49.7
新聞やテレビ等メディアからの健康づくりに関する情報の充実	318	33.5	382	37.5
飲食店における分煙・禁煙の徹底	317	33.4	—	—
塩分や油を抑えた調味料や加工食品の種類、販売店舗の充実	282	29.7	277	27.2
健康に配慮した弁当や総菜等を販売する店舗の充実	256	27.0	282	27.7
スポーツジム、プール等運動施設の充実	246	25.9	264	25.9
健康づくりに関するイベントの開催	236	24.9	266	26.1
健康に配慮したメニューを提供する飲食店の充実	211	22.3	225	22.1
職場における健康づくりに関する取組の充実	169	17.8	188	18.5
インターネットやSNSからの健康づくりに関する情報の充実	116	12.2	124	12.2
その他	81	8.5	108	10.6
無回答	11	1.2	21	2.1

●「ウォーキングコースや歩道の整備」が47.9%と最も高く、次に「新聞やテレビ等メディアからの健康づくりに関する情報の充実」(33.5%)、「飲食店における分煙・禁煙の徹底」(33.4%)となっている。



その他としては、「小さい児がいても運動できるよう、託児施設を整備してほしい」、「一人では難しいので、家族・学校・会社での教育や取り組みが大切」、「労働時間縮減、シフト制導入等、運動できる環境の整備」等の回答が見られた。

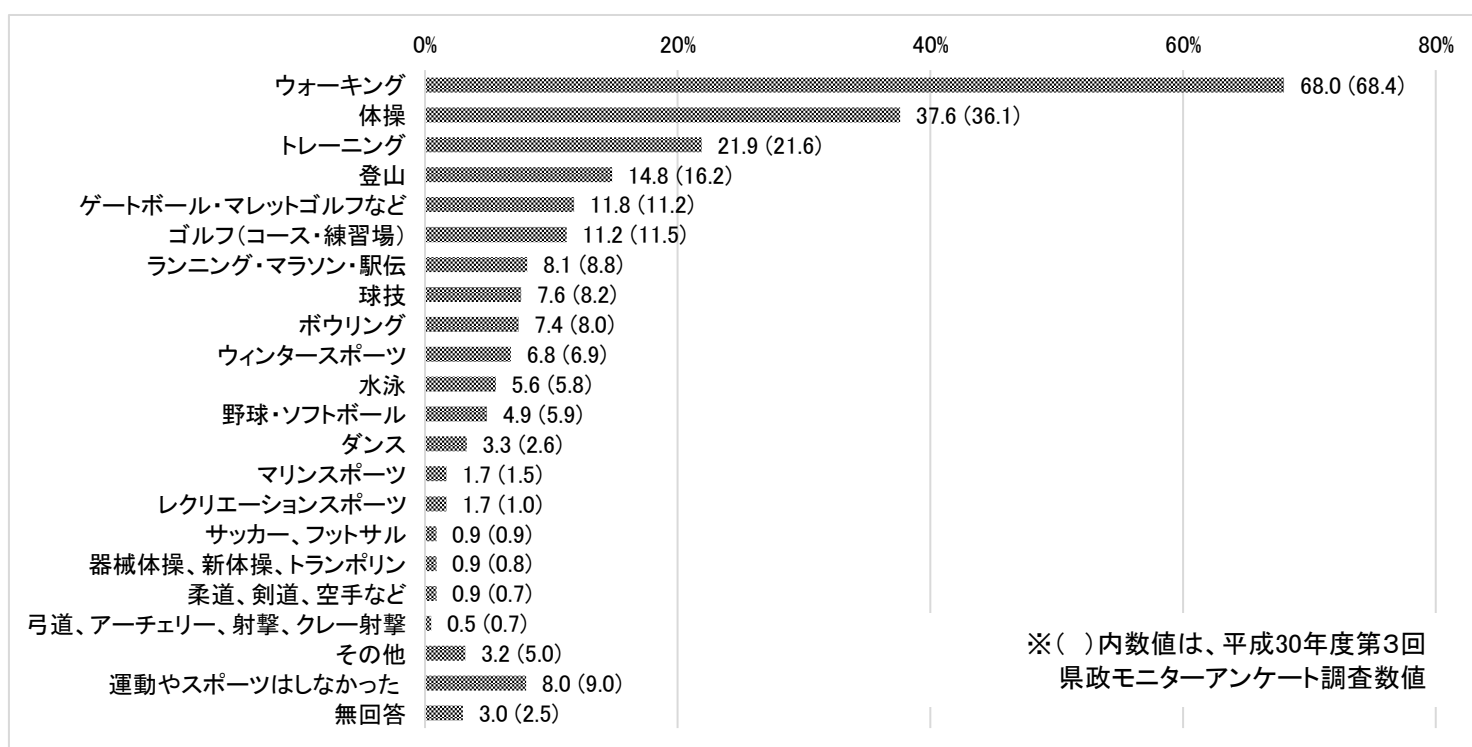
《運動・スポーツに関する実感について》

＜この1年間に行った運動・スポーツの種類＞
「ウォーキング」が約7割、「体操」が約4割

問16 この中にあなたがこの1年間に行った運動やスポーツがあれば、当てはまるものにチェックをしてください。ただし、学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。(☑は5つまで)

	R1年度 n=948		(参考) H30年度 n=1,018	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)	645	68.0	696	68.4
体操(ラジオ体操、ご当地オリジナル体操、職場体操、美容体操、エアロピクス、縄跳びなど)	356	37.6	367	36.1
トレーニング(筋肉トレーニング、トレッドミル、室内運動器具を使ってする運動など)	208	21.9	220	21.6
登山・トレッキング(クライミングを含む)、キャンプ、ハイキング、ワンダーフォーゲル	140	14.8	165	16.2
ゲートボール・グラウンドゴルフ・マレットゴルフ・パターゴルフ・スナックゴルフなど	112	11.8	114	11.2
ゴルフ(コース・練習場)	106	11.2	117	11.5
ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝	77	8.1	90	8.8
球技(バレーボール、バスケットボール、テニス、バドミントン、卓球、ドッジボールなど)	72	7.6	83	8.2
ボウリング	70	7.4	81	8.0
ウィンタースポーツ(スキー・スノーボード・スケート・アイスホッケー・カーリングなど)	64	6.8	70	6.9
水泳(競泳・水球・飛込・アーティスティックスイミング、アクアエクササイズなど)	53	5.6	59	5.8
野球(硬式・軟式)・ソフトボール(キャッチボールなど含む)	46	4.9	60	5.9
ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンスなど)	31	3.3	26	2.6
マリンスポーツ(ボート・カヌー・ヨット・水上スキー・ダイビング・サーフィン・釣りなど)	16	1.7	15	1.5
レクリエーションスポーツ(ティーボール・インディアカ・スポーツチャンバラなど)	16	1.7	10	1.0
サッカー、フットサル	9	0.9	9	0.9
器械体操、新体操、トランポリン	9	0.9	8	0.8
柔道、剣道、空手、相撲、ボクシング、レスリング	9	0.9	7	0.7
弓道、アーチェリー、射撃、クレー射撃	5	0.5	7	0.7
その他	30	3.2	51	5.0
この1年間に運動やスポーツはしなかった	76	8.0	92	9.0
無回答	28	3.0	25	2.5

●「ウォーキング」が68.0%と最も高く、次に「体操」(37.6%)、「トレーニング」(21.9%)となっており、昨年と同様の順位である。



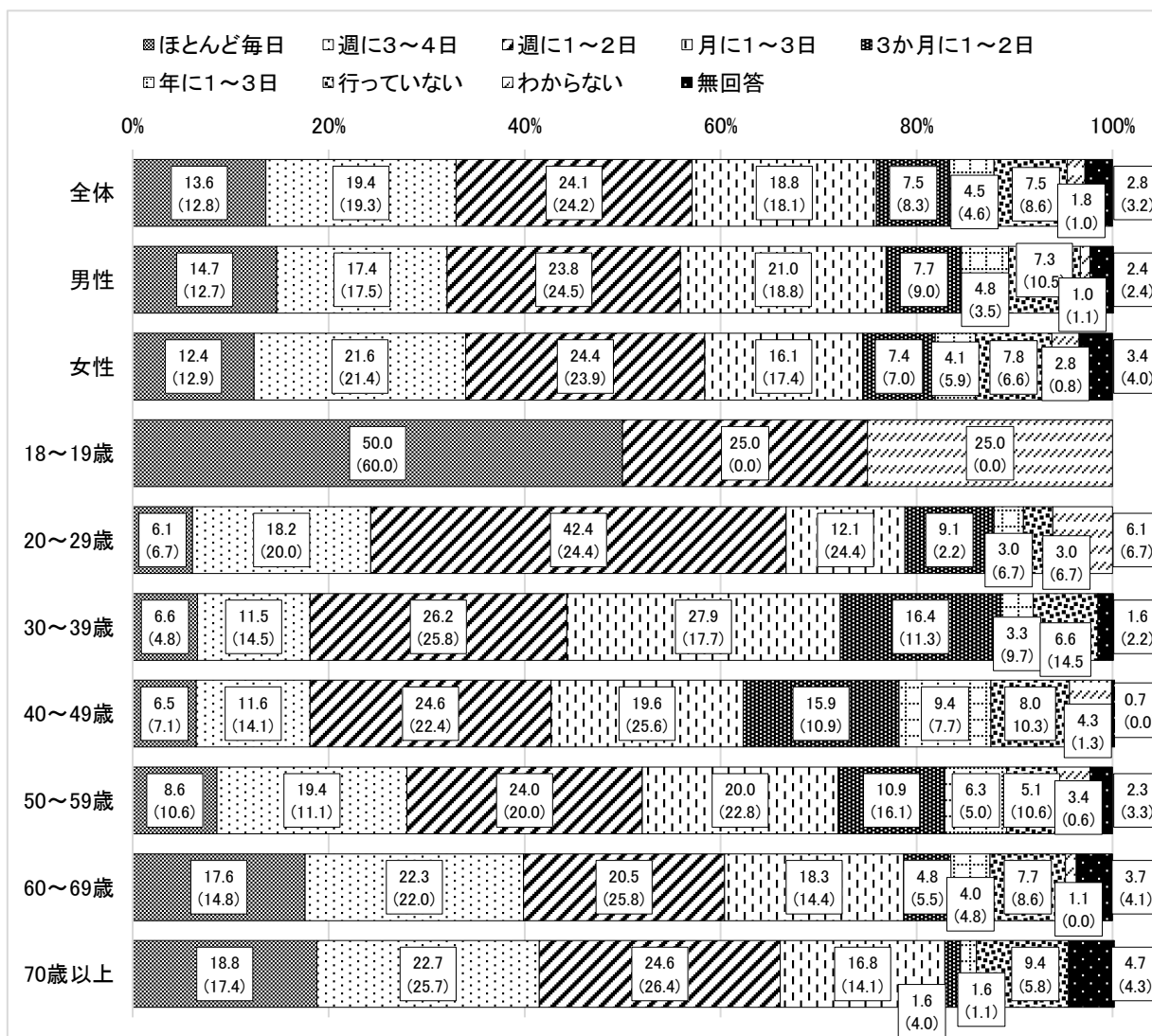
その他としては「サイクリング」、「ヨガ」等の回答が見られた。

＜この1年間に運動・スポーツを行った日数＞
週1日以上行っている人が6割弱

問17 問16であげた種目を含め、あなたはこの1年間に運動・スポーツを何日程度行いましたか。
当てはまるものにチェックをしてください。(☑は1つ)

	R1年度 n=948		(参考) H30年度 n=1,018	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
ほとんど毎日	129	13.6	130	12.8
週に3～4日	184	19.4	196	19.3
週に1～2日	228	24.1	246	24.2
月に1～3日	178	18.8	184	18.1
3か月に1～2日	71	7.5	84	8.3
年に1～3日	43	4.5	47	4.6
行っていない	71	7.5	88	8.6
わからない	17	1.8	10	1.0
無回答	27	2.8	33	3.2

●「ほとんど毎日」(13.6%)、「週に3～4日」(19.4%)、「週に1～2日」(24.1%)を合わせて57.1%となっている。
週1日以上年齢別では、サンプル数が少ない10代を除くと、20代が66.7%と最も高く、40代が42.7%と最も低くなっている。



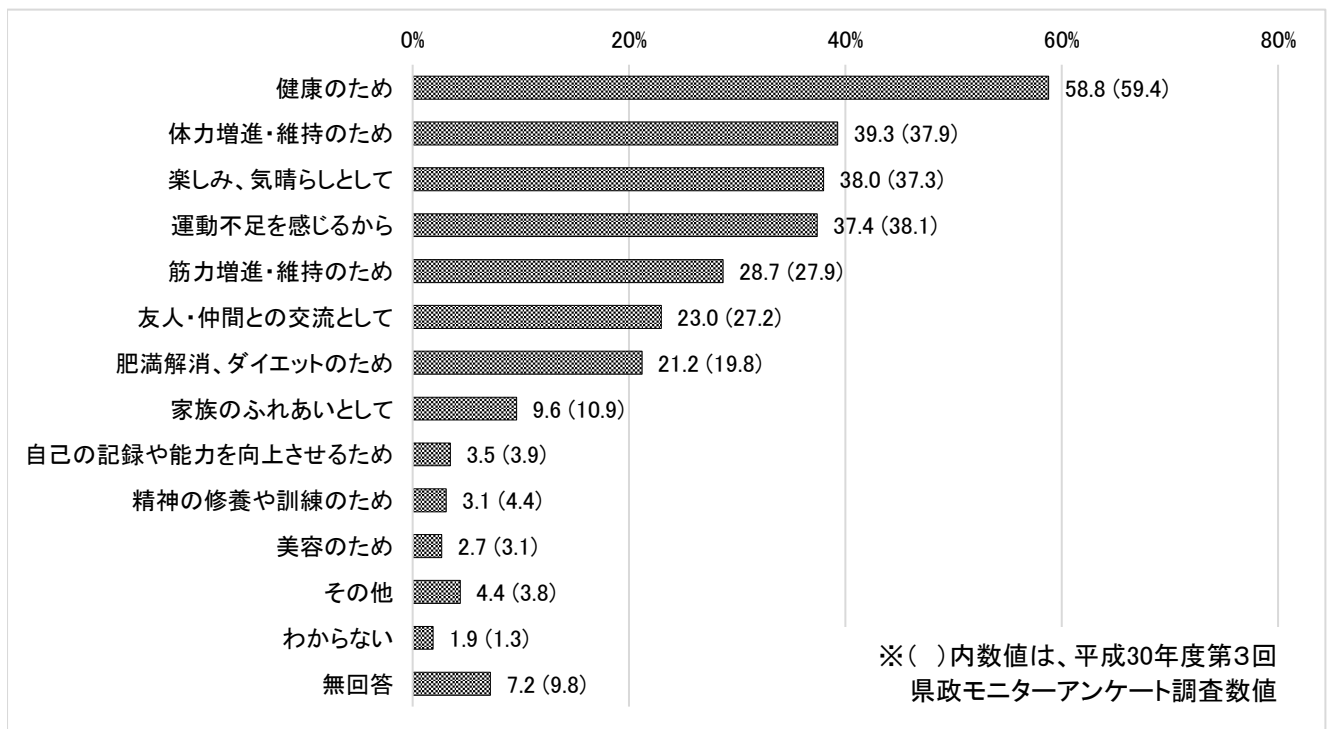
※()内数値は、平成30年度第3回県政モニターアンケート調査数値

＜この1年間に運動・スポーツを行った理由＞
 「健康のため」が約6割、「体力増進・維持のため」が約4割

問18 この1年間に、あなたが運動やスポーツを実施したのはどのような理由からですか。あてはまるものにチェックをしてください。（☑はいくつでも）

	R1年度 n=948		(参考) H30年度 n=1,018	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
健康のため	557	58.8	605	59.4
体力増進・維持のため	373	39.3	386	37.9
楽しみ、気晴らしとして	360	38.0	380	37.3
運動不足を感じるから	355	37.4	388	38.1
筋力増進・維持のため	272	28.7	284	27.9
友人・仲間との交流として	218	23.0	277	27.2
肥満解消、ダイエットのため	201	21.2	202	19.8
家族のふれあいとして	91	9.6	111	10.9
自己の記録や能力を向上させるため	33	3.5	40	3.9
精神の修養や訓練のため	29	3.1	45	4.4
美容のため	26	2.7	32	3.1
その他	42	4.4	39	3.8
わからない	18	1.9	13	1.3
無回答	68	7.2	100	9.8

●「健康のため」が58.8%と最も高く、次に「体力増進・維持のため」(39.3%)、「楽しみ、気晴らしとして」(38.0%)となっている。



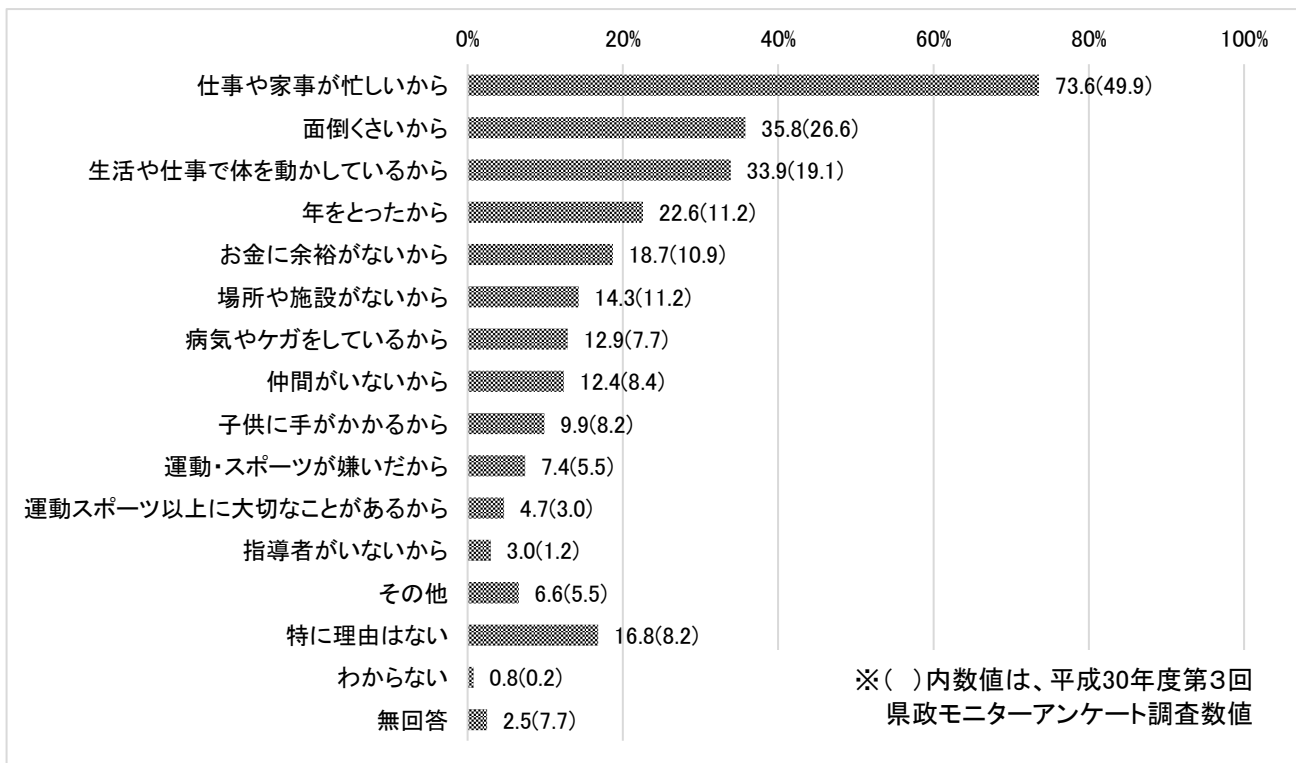
その他としては「犬の散歩」、「職場で行っている」等の回答が見られた。

＜この1年間に行った運動・スポーツを週に1日以上できなかった理由＞
 「仕事や家事が忙しいから」が7割超、「面倒くさいから」が3割超

問19 週に1日以上(総計年51日～100日)運動・スポーツを実施できなかった理由は何ですか。当てはまるものにチェックをしてください。(☑はいくつでも)

	R1年度 n=363		(参考) H30年度 n=403	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
仕事や家事が忙しいから	267	73.6	201	49.9
面倒くさいから	130	35.8	107	26.6
生活や仕事で体を動かしているから	123	33.9	77	19.1
年をとったから	82	22.6	45	11.2
お金に余裕がないから	68	18.7	44	10.9
場所や施設がないから	52	14.3	45	11.2
病気やケガをしているから	47	12.9	31	7.7
仲間がいないから	45	12.4	34	8.4
子供に手がかかるから	36	9.9	33	8.2
運動・スポーツが嫌いだから	27	7.4	22	5.5
運動スポーツ以上に大切なことがあるから	17	4.7	12	3.0
指導者がいないから	11	3.0	5	1.2
その他	24	6.6	22	5.5
特に理由はない	61	16.8	33	8.2
わからない	3	0.8	1	0.2
無回答	9	2.5	31	7.7

●「仕事や家事が忙しいから」が73.6%と最も高く、次に「面倒くさいから」(35.8%)、「生活や仕事で体を動かしているから」(33.9%)となっている。



その他としては「介護生活のため」、「天候不順」等の回答が見られた。

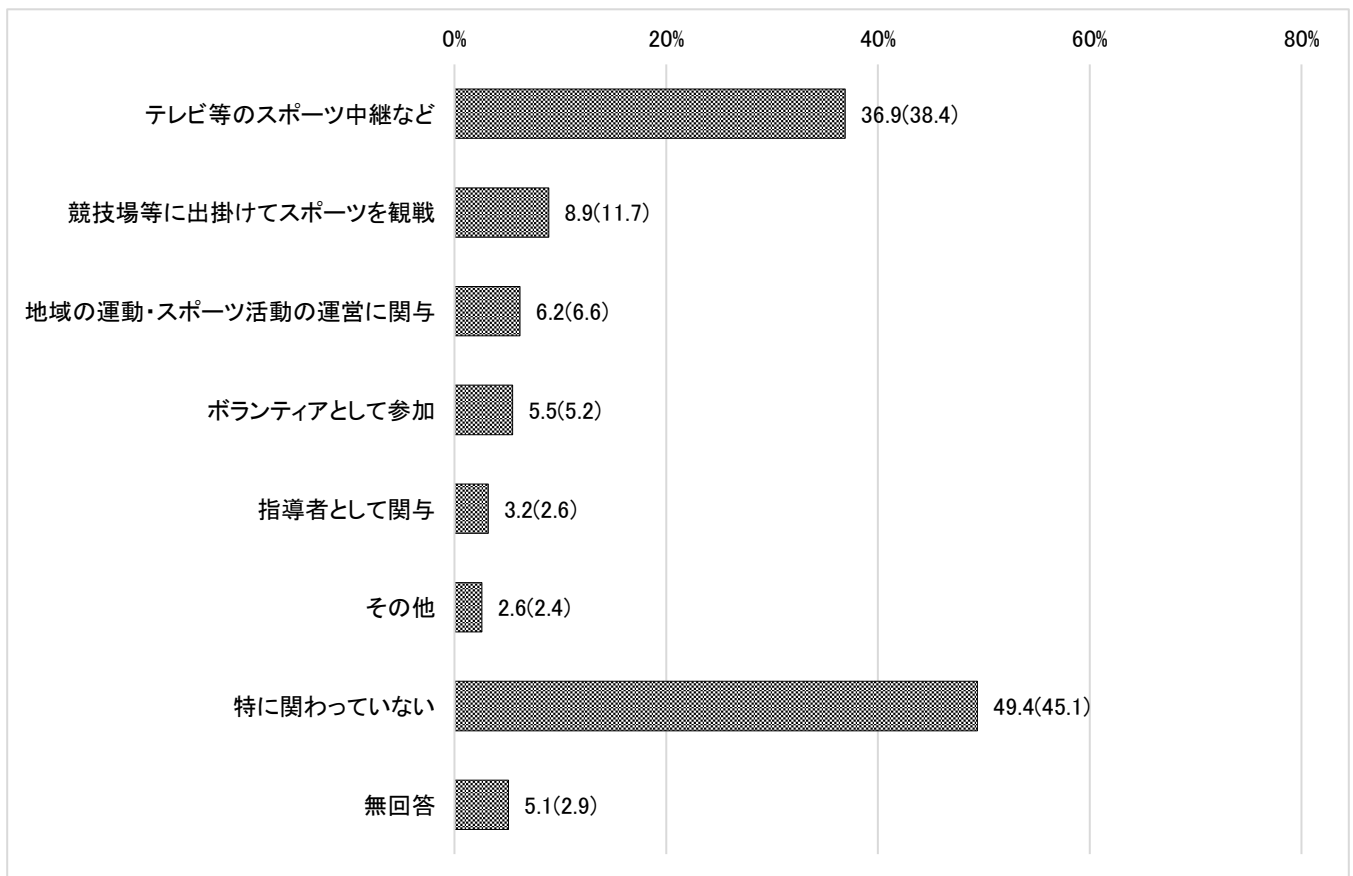
＜運動・スポーツをする以外の関わり方＞

「テレビ等により日常的にスポーツ中継、スポーツ情報に接している」が4割弱

問20 あなたは自ら運動・スポーツをする以外に、運動・スポーツにどのような関わり方をしていますか。当
てはまるものにチェックをしてください。(☑はいくつでも)

	R1年度 n=948		(参考) H30年度 n=1,018	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
テレビ等により日常的にスポーツ中継、スポーツ情報に接している	350	36.9	391	38.4
競技場等に出掛け、スポーツを観戦している	84	8.9	119	11.7
地域の運動・スポーツ活動の運営に携わっている	59	6.2	67	6.6
各種運動・スポーツ行事、大会、教室等へボランティアとして参加している	52	5.5	53	5.2
指導者として関わっている	30	3.2	26	2.6
その他	25	2.6	24	2.4
特に関わっていない	468	49.4	459	45.1
無回答	48	5.1	30	2.9

●「テレビ等により日常的にスポーツ中継、スポーツ情報に接している」が36.9%と最も高く、次に「競技場等に出掛け、スポーツを観戦している」(8.9%)、「地域の運動・スポーツ活動の運営に携わっている」(6.2%)となっている。



※()内数値は、平成30年度第3回県政モニターアンケート調査数値

その他としては「公民館活動」、「子供の応援、サポート」等の回答が見られた。